

忠岡町消防本部AED利活用プロジェクト 概要

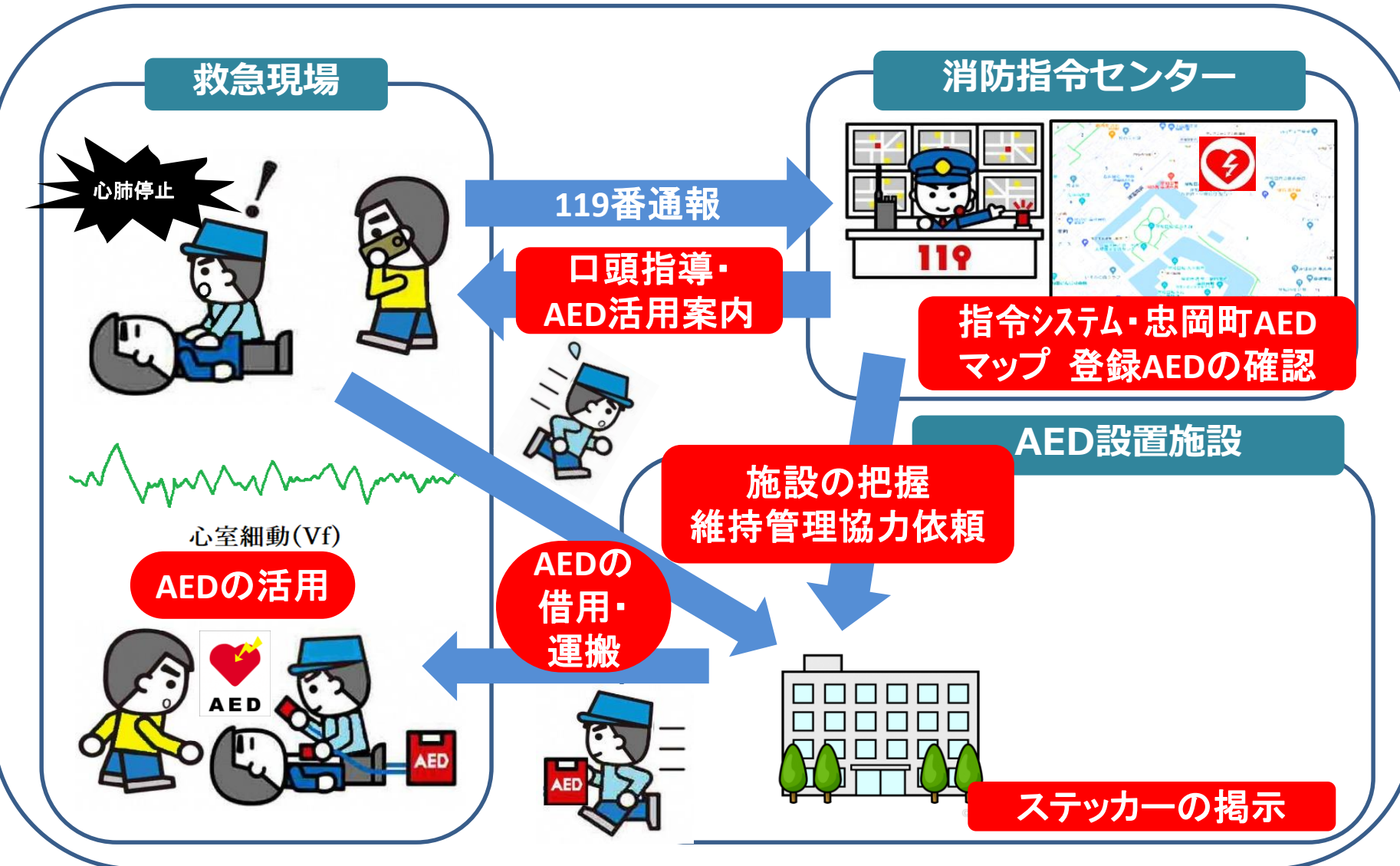
現状と課題

- ★AEDの普及は進むが、使われていない
- 設置場所が分からない
- 期限切れ

- ※心停止後の使用率4.2% 総務省消防庁：令和3年版救急・救助の現況
- ※7分に一人心臓突然死で亡くなっています
- ※救急車の到着を待っていたのでは8.2%の人しか救命できません。しかし胸骨圧迫とAEDを用いる事で、突然の心停止の半数以上の人を救えます。

プロジェクトのイメージ

プロジェクト内容（4本の矢）



- ① 忠岡町内のAED設置施設の参加協力（登録申請）による利活用可能なAEDの情報把握と適切な維持管理の啓発
- ② 利活用可能なAEDの消防指令システム登録による口頭指導への活用
- ③ 忠岡町AEDマップの登録による住民周知
- ④ 設置施設へのステッカーの配付・掲示による住民周知

効果

町内に設置されているAEDの利活用可能な状態を維持・管理することができ、設置場所情報等を住民に周知、また119番通報時、通報者にAED情報を伝えることで、使用の促進につながる。→住民の救命率・社会復帰率の向上が見込める。